

令和2年第4回市議会定例会 一般質問通告概要一覧

日 時	人 数
令和2年12月11日（金）午前10時～	6人（1番から6番まで）
令和2年12月14日（月）午前10時～	6人（7番から12番まで）

質 問 位 順	議 席 番 号	会 派 名	通 告 者 氏 名	抽 選 番 号	種 別
1番	12	公 明 党	齋 藤 裕 子	2	一問一答
2番	16	市 民 ク ラ ブ	昌 浦 泰 巳	3	一問一答
3番	10	自 由 民 主 党	吉 田 瑞 生	5	一問一答
4番	1	日 本 共 産 党	遠 藤 秋 雄	6	一問一答
5番	2	日 本 共 産 党	中 田 定 行	8	一問一答
6番	17	新 世 紀 ク ラ ブ	竹 谷 英 昭	10	一問一答
7番	9	日 本 共 産 党	戸 津 川 晴 美	11	一問一答
8番	14	自 由 民 主 党	雨 森 修 一	13	総括質問
9番	11	公 明 党	阿 部 正 幸	14	一問一答
10番	3	自 由 民 主 党	佐 藤 雅 博	16	一問一答
11番	7	無 所 属 の 会	江 口 正 夫	17	一問一答
12番	8	日 本 共 産 党	佐 藤 恵 子	18	一問一答

計 12 名

総括質問方式： 1 名  
一問一答方式： 11 名



質問順 1番	受付月日 12. 1	通告者 12番	齋藤裕子
		発言時間 30分	種別 一問一答

### 1. 高齢者の見守り支援強化について

コロナ禍において、特に高齢者の方は外出を控え、自宅で過ごす日常が多くなり、地域で見守りを担う人たちの訪問活動や、交流の自粛などで、孤立化や、健康面が懸念されます。また、介護認定者も増加傾向にあると言われており、高齢者の介護予防の観点からも見守り活動は重要です。電話連絡や手紙等でコミュニケーションを図り、話す機会の確保や生活の状況・安否確認、生活支援など情報提供を行っている事例も聞いております。そこで、本市のコロナ禍においての、高齢者の見守り支援の取り組みについて伺います。

### 2. 認知症徘徊高齢者等の見守りQRコードシール活用について

警視庁の公表した取りまとめによると、昨年の方不明者の中で、認知症やその疑いによるものが1万7479人に上り年々増加しております。現在、認知症徘徊高齢者の早期発見、保護の取り組みに、様々なツールの開発や、活用がされています。中でも、QRコード添付のシールを、心配な方の衣類等に貼ってもらい、発見者がスマートフォンなどで読み取ると事前登録された連絡先が表示される仕組みのツールがあります。本市でも、認知症高齢者支援の取り組みに、QRコードを用いた身元確認ツールの導入をすべきと考えます。市長の見解を伺います。

### 3. 特殊詐欺対策について

近年、高齢者を狙った振り込め詐欺など犯行の手口も一段と巧妙になっており、コロナ禍における特殊詐欺被害も懸念されます。その対策として、電話の受話器を取ると「通話の内容を録音する」と告げる通話録音装置を活用し犯罪抑止に繋げている自治体が増えております。そこで、本市でも通話録音装置の設置を図り、防犯対策の取り組みをすべきと考えます。市長の見解を伺います。

### 4. 結婚支援について

若者が結婚に踏み切れない理由として、経済的不安と住居が挙げられています。人口減少対策として国の「結婚新生活支援事業」では、結婚に伴う住居費や引っ越し費用などを補助し、新生活を応援しています。そこで、本市もこの事業を活用し結婚支援、定住促進への後押しをすべきと考えます。

また、結婚はしたいが、相手に巡り合う機会がないことなどが、未婚の理由になっています。婚活は個人の問題とせず、本市としても縁結びの支援にも取り組むべきと考えますが、併せて市長の見解を伺います。

質問順	受付月日	12. 1	通告者	16番	昌浦泰巳
2番			発言時間	30分	種別
<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 令和3年4月からの組織改編を前市長の方針を大きく変更した理由は何ですか。</p> <p>(2) 市長は前市長の市政運営をどう評価し、その評価に照らして具体的に何を継承し、何を独自になさるお考えですか。</p> <p>2. 認知症患者の支援について</p> <p>(1) 認知症の方や家族を市全体で支える条例を制定するお考えはありますか。</p> <p>(2) 市は認知症高齢者(特にはいかい)等個人賠償責任事業を実施するお考えはありますか。</p>					

質問順 3番	受付月日	11.30	通告者	10番	吉田瑞生
			発言時間	30分	種別
<p>1. 多賀城市制施行50周年（令和3年11月1日）記念事業の一環として、“「読書三到」の碑”を多賀城市立図書館前・多賀城駅前北口広場に、旧図書館前から移転設置・モニュメントとして建立し、「知の広場」づくりと東北随一の文化交流拠点を目指すことについて</p> <p>“「読書三到」の碑”は、多賀城市立図書館のシンボルでありました。</p> <p>昭和52年7月29日に多賀城市立図書館建設工事の起工式が挙行され、昭和53年3月28日に竣工、6月1日に開館。10月24日に読書三到の碑が完成しました。</p> <p>碑をそのまま放置していたり、処分したりすることはできない貴重な財産であり、銘板を取り外すなどの事は禁物であります。</p> <p>多賀城駅前に多賀城市立図書館が「家」をコンセプトに、平成28年3月21日にオープンしましたが、かけがえのない知的財産“「読書三到」の碑”を放置した状態の現況を鑑みると、新図書館の建設事業が完結したとは言えない有り様でしょう。</p> <p>この碑は、多賀城の文化財的な証であると評価することをあながち否定することにはならないでしょう。</p> <p>よって、保存し活用することが命題であります。</p> <p>当時を思い起こすと、伊藤喜一郎市長は、東京都日野市立図書館の先進例を教訓に、「多賀城」の発展に心血を注いで尽力されたのであります。</p> <p>「図書館を訪ねれば、まちの瞳と知性が伺える」のです。</p> <p>「TAGAYASU多賀城の市民文化創造となる碑」を“知の拠点”の魅力と資産と象徴にすることが必要です。</p> <p>“「読書三到」の碑”が、第六次多賀城市総合計画基本構想キャッチコピー“つなぐ はぐくむ TAGAYASU”まちづくりの土台・一輪の花としてはぐくむことにしなければなりません。</p> <p>“「読書三到」の碑”を多賀城駅北口に設置することは、深谷市長が11月24日の所信表明の中で述べた、「多賀城駅を中心とする魅力的で質の高い都市環境の充実を図る」ことにも資することとなります。</p> <p>以上、多賀城市制施行50周年記念事業の一環として、“「読書三到」の碑”を多賀城市立図書館前・多賀城駅前北口広場に、旧図書館前から移転設置・モ</p>					

ニュメントとして建設し、「知の広場」づくりと東北随一の文化交流拠点を目指すことを求めます。

質問順 4番	受付月日	12. 2	通告者	1番	遠藤秋雄	
			発言時間	30分	種別	一問一答
<b>1. 所信表明と公約について</b>						
(1) 子ども医療費助成制度の所得制限について						
<p>今年10月25日投開票の市長選挙で当選した市長の「選挙公報」には、「未来の担い手全力応援!」「子ども医療費の所得制限を撤廃し、子どもたちの健康を市民みんなで支え合います」と、公約しています。</p> <p>しかし当選後の11月24日に開催された「第4回臨時議会所信表明」では、「子ども医療費助成制度の所得制限を撤廃する『方向で検討』してまいります」と、選挙公約の「撤廃します」から「方向で検討」とトーンダウンしています。</p> <p>市長当選後わずか1カ月余りで、「公約のトーンダウン」となった理由をお伺いします。選挙公約でかけた政策の誠実な実施を求めます。</p>						
(2) 社会参加と移動支援の「市内循環バス」について						
<p>同じく選挙公報で、「65歳以上の高齢者」及び「障害者」の社会参加と移動支援をするため「市内東部線、西部線のバス乗車賃無料化を進めます」と、公約しています。</p> <p>しかしこれまた「所信表明」では、高齢者について「関係団体や関係機関とその実現を図る上での課題を整理してまいります」と語り、障害者について「その実現に向けて課題を整理してまいります」と表明しています。</p> <p>わずか1カ月余りで、市内循環バスの無料化に関しても、「課題を整理」という形でトーンダウンとなった理由をお伺いします。公約に基づき、直ちに無料化政策の実施を求めます。</p>						
<b>2. 市内循環バス(西部線)の運行路線見直し(留ヶ谷地区の路線新設)について</b>						
市民コミュニティバス・多賀城西部線の路線変更について						
<p>西部線は、北回りと南回りの2経路で平日は1日・6便、土日祝は1日・3便運行されています。「市民プール」発着は、平日で3便、土日祝で1便、朝夕を中心に減便されています。</p>						

現在の西部線の運行路線は、留ヶ谷地区が路線から外れており、市内循環バスの未路線地区になっています。そのために留ヶ谷地区のみなさんから、「高齢になって免許証を返納したのでバスがあればいい」「買い物や病院に行くのに交通が不便」「生活するのに移動手段がほしい」という声が、数多く寄せられています。

このような市民に答えるため、市道留ヶ谷線の路線新設を要望します。

質問順 5番	受付月日	12. 1	通告者	2番	中田 定行
			発言時間	30分	種別
					一問一答
<b>1. 新型コロナウイルス感染症防止対策について</b>					
(1) 医療機関、介護福祉施設、保育園、幼稚園、学校、児童クラブなど、クラスターが発生すれば多大な影響が出る施設等で、そこに入院・入所・利用する方、働いている方、出入りの業者の方などに定期的なPCR検査を行う「社会的検査」を行い、感染拡大を防止する必要があります。多賀城市においても「社会的検査」を行うべきだと思いますが、市長はどう考えますか。					
(2) 「社会的検査」の検査費用は国の負担が二分の一となっているため、検査拡大に二の足を踏む自治体も少なくないと言われます。全額国庫負担で「行政検査」が行えるよう国に働きかけるべきだと思いますが、いかがお考えですか。					
<b>2. 多賀城市の水害対策について</b>					
多賀城市は地政学的に見ても水害対策が大変重要です。内水対策は特に重視して取り組まなければなりません。					
計画されていて未実施の雨水幹線整備について、市長は具体的にどのように実施されようとするのか伺います。					
<b>3. 家庭教育支援条例について</b>					
施政方針に「家庭教育支援条例」の制定に取り組むとあります。自民党が提案している「家庭教育支援法」に先駆けて条例制定を考えているのか、その発想によって立つところは何か、お伺いします。					

質問順 6番	受付月日	12. 1	通告者	17番	竹谷英昭
			発言時間	30分	種別
<p>1. 所信表明から</p> <p>(1) 財政について</p> <p>① 本市の財政に対する現状認識について</p> <p>② 持続可能な行財政経営を推進するためには、民間の優れた経営理念や経営手法の具体的な導入方法について</p> <p>③ 金がないなら稼ぐための仕組みを作ればいい、と発言しているが、その具体的対策について</p> <p>④ 新しい多賀城創りのため、前例や先例に捉われることのない新たな視点と、発想を求めるための具体的な行動計画について</p> <p>(2) 2市3町における広域連携の強化については、広域行政事務組合の立ち上げを視野に考えるべきと思うが、市長の所見をお伺い致します。</p> <p>(3) 子ども医療費助成制度の所得制限を撤廃するための課題について伺います。</p> <p>(4) あいさつ運動の推進についてのご所見を伺います。</p>					

質問順 7番	受付月日	12. 1	通告者	9番	戸津川 晴美
			発言時間	30分	種別
<p>1. 女川原発再稼働</p> <p>(1) 知事の「地元同意」表明は、あまりに拙速ではないでしょうか。また、11月9日に行われた市町村長会議において、市長はどのような意見表明をされたのか伺います。</p> <p>(2) 女川原発で事故が起きた際、本市市民の安全は確保できるのでしょうか。屋内避難で被ばくは防げるのでしょうか。</p> <p>(3) 本市においても住民説明会を開くべきと考えますがいかがですか。</p> <p>(4) 多くの方が「再稼働は県民投票で判断してほしい」と願っていますが、市長はどう受けとめられますか。</p> <p>(5) 核のゴミに対する所見並びに自然エネルギーへの転換に対する所見を伺います。</p>					



## 2. 仙台パワーステーション

(1) 市長はこれまで県知事に対し、固定観測基地の設置を求められたことはありませんか。是非求めていただきたいと思いますが、いかがですか。

(2) 今後仙台パワーステーションに対し、公害防止協定第20条にそった情報公開と木質バイオマスの混燃を含め、環境汚染の改善を強く求めていただきたいと思いますが、いかがですか。

## 3. 子育て支援の拡充

コロナ禍で苦しむ、ひとり親世帯や就学援助世帯に対し、さらなる支援の拡充を求めます。いかがですか。

## 4. 少人数学級

コロナ禍の教室で40人に近い児童、生徒は密集が避けられません。少人数学級の実現を強く求めます。市長の所見を伺います。

質問順 8番	受付月日	12. 1	通告者	14番	雨森修一
			発言時間	30分	種別 総括
<b>1. 多賀城市シルバーヘルスプラザの建て替えについて</b>					
多賀城市シルバーヘルスプラザの開設年度は1970年、45年経過し今日に至っています。					
約半世紀前の建物、設備内容等老朽化が進んでいます。市長の掲げる「高齢化社会に真っ向勝負」日本で一番暮らしやすいまちづくり、若い行動力に期待いたし、建て替えを望みます。ご答弁願います。					
<b>2. JR仙石線下馬駅前周辺の整備計画推進について</b>					
下馬駅は一日約7500人の利用者、通勤、通学、市民生活にとって非常に重要な場所であります。					
深谷市長が掲げる「知恵と工夫」多賀城新時幕開けの端緒として、下馬駅前周辺の整備を望むものであります。					

質問順 9番	受付月日	12. 1	通告者	11番	阿部正幸
			発言時間	30分	種別

### 1. 空き家バンク制度について

空き家対策は全国的な課題となっており、これまで、空き家バンク制度や空き家の利活用について、平成28年第1回定例会、平成29年第4回定例会、令和元年第3回定例会で一般質問を行ってきました。

空き家バンク制度は、空き家を売りたい方、貸したい方が物件登録し、その情報を自治体ホームページ等で公開して情報提供する制度です。そのことにより、空き家の流通を促進、利活用することにより空き家の増加抑制をすることが出来ます。

公益財団法人宮城県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会宮城県本部と協定を結び、本市でも空き家バンク制度の取り組みをしてははいかがでしょうか。

### 2. 所信表明の7つの重点政策から2点について

深谷市長の所信表明から7つの重点政策を掲げましたが、その中から2点伺います。

#### (1) 重点政策1 目下直面する危機への対策(新型コロナウイルス感染症対策)

で、「特別定額給付金の対象とならなかった新生児を育てる世帯に対し、新生児子育て応援臨時給付金の給付をするほか、飲食店を営む小規模事業者への事業継続支援などの対策をいち早く実施してまいりたい」とのことですが、今後の具体的な給付や支援の時期、周知方法について伺います。

#### (2) 重点政策6 シティブランドの創出とシビックプライドの醸成の取り組み

で、「令和6年(2024年)に創建1300年を迎えます。大規模な記念事業を推進するとともに、古代東北の文化の中心であった多賀城に相応しい、内外に誇れる知と学びのインフラづくりに取り組んでまいります」とありますが、市長が考えている大規模な記念事業の内容と内外に誇れる「知と学びのインフラ」づくりとは、どのような取り組みなのか伺います。また、多賀城政庁跡周辺において具体的にどのような整備をするのか伺います。

質問順 10番	受付月日 11.30	通告者 3番	佐藤雅博
		発言時間 30分	種別 一問一答
<p><b>1. 農業振興と農道改善について</b></p> <p>(1) 時代に合った営農、時代に合った担い手づくりについて  農業従事者の高齢化と担い手不足が進み、持続可能な農業経営を図るため、時代に合った営農、柔軟な担い手づくりが必要と考える。本市の現状、取り組みについて伺います。</p> <p>(2) 安定した農業経営、儲かる、稼げる農業について  農業所得の向上、安定は生活していく上でとても大事なことである。基盤整備、促進事業、助成制度などにより一定の土台は出来たと思う。自主販売の拡大や儲かる、稼げる支援策について伺います。</p> <p>(3) 六次産業化について  多角経営化と高収入農業を目指す、生産、加工、販売を行う六次産業化ビジネスは広く行われているところです。本市の取り組み状況を伺います。</p> <p>(4) 生活道路として利用されている農道の改善について  特別史跡内に利用頻度の高い農道がある。生活道路農道のあり方の改善を求め、見解を伺います。</p>			

質問順 11番	受付月日 12. 1	通告者 7番	江口正夫
		発言時間 30分	種別 一問一答

**1. 所信表明から、行財政改革について**

市長は令和2年第4回臨時会の所信表明で、7つの重点政策を出されました。その中の重点政策7の行財政改革について、「各種重点政策の推進には、財政事情を見極めたうえで、取り組むことが重要であると考え、これまでとは違った視点で、民間の理念や経営手法を積極的に取り入れ、限りある人的資源や財源を効果的に生み出してまいります。(中略)現下の課題解決に必要な事業への財政支出は惜しむことなく、一方で、各種政策の成果を見極め、選択と集中を図り、次世代に過度の負担を残すことのないよう、行政のスリム化を実現してまいります」と述べております。

そこで、市長の行財政改革の基本的な考えについて、以下の2点について質問をします。

(1) 持続可能な行財政経営の推進のため、民間の優れた経営理念や経営手法を積極的に取り入れ、限りある人的資源や財源を効果的に生み出すと述べていますが、その考えをお伺いします。

① 民間の優れた経営理念や経営手法を積極的に取り入れるとは、どのような要領で、どのように評価するのですか。

② その成果として、人的資源・財源として、具体的に何を期待するのですか。

(2) 各種政策の成果を見極め、選択と集中を図り、次世代に過度の負担を残すことのないよう、行政のスリム化を実現してまいりますと、述べていますが、その考えをお伺いします。

① 行政のスリム化はどのようなことを検討し、どのように評価するのですか。

② 各種政策の成果を見極め、選択と集中を図るとありますが、事業レビューを行っていると思いますが、どのように評価していますか。

質問順 12番	受付月日	12. 1	通告者	8番	佐藤 恵子
			発言時間	30分	種別
<p>1. 新型コロナウイルス感染症拡大から、暮らし、営業を守る対策について</p> <p>市長は所信表明で、「目下直面する危機、新型コロナウイルス感染症への対策を重点政策の第一に」あげ、そのなかで休業や時短営業の要請などにより地域経済は委縮し、いまだに危機の出口が見えてこない状況にあると述べました。しかし、苦境にあえぐ地域経済をどう打開していくか、その具体策は示されませんでした。このままでは少なくない飲食店などは年を越せず、廃業・倒産に追い込まれてしまいます。以下述べる緊急の支援策を直ちに講じるべきと考えます。</p> <p>第一には、コロナ禍にある市内の小規模事業所の状況を、市独自に調査をおこなうことが必要です。市長として直ちに指示を出し、実態を把握し、それをもとに具体的な対策をすすめるべきと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>第二は、年末の資金繰りが大変な業者に対する親身になった支援です。相談窓口の充実・強化、市独自無担保・無利子の緊急融資などの支援策を講じてください。</p> <p>第三は、10月15日に終了した「ぐるっとたがじょうスタンプラリー事業」についてです。大変好評で、地域での消費拡大にも大きく貢献しました。引き続き必要な財源の確保につとめ、この事業を継続されたい。また、市独自の事業継続給付金を来年も延長して実施すること。</p> <p>第四は、持続化給付金と雇用調整助成金をコロナ収束まで延長するよう国に求められたい。</p>					